社会資本総合整備計画
「中心市街地の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり」
【平成26～29年度】

フォローアップ報告書

・中央町19・20番街区市街地再開発事業
・鹿児島駅周辺地区都市再生整備計画事業
・千日町1・4番街区市街地再開発事業

平成30年12月

鹿児島県鹿児島市

1．数値目標の達成状況の確認（確定値）

様式4－①　社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期（公表時期）	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	中心市街地の土日の歩行者通行量	人／日	165,664	171,000	158,363	確定		×	あり	156,110	H29年11月（H30年7月）	×		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	2つの市街地再開発事業の着実な進捗により、中心市街地の活性化への期待が高まっているが、中心市街地外の大型商業施設による影響などから、目標達成に至らなかった。
						見込み	●		なし ●						
指標2	いづろ・天文館地区の空き店舗率	%	7.3	7.3	8.3	確定		×	あり	8.1	H30年2月（H30年4月）	×		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	2つの市街地再開発事業の着実な進捗により、中心市街地の活性化への期待が高まっているが、中心市街地外の大型商業施設による影響に加え、店舗物件の条件が借り手のニーズと合わないことなどから、目標達成に至らなかった。
						見込み	●		なし ●						
指標3	鹿児島駅周辺地区で整備したイベント広場でのイベント開催数	件／年	3	39	42	確定		○	あり －	130	H30年3月（H30年4月）	○	事後評価値は、4～7月の実績であり、その後年間の実績が確定したため。	□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	多様な活用ができる施設として整備した「かんまちあ」により目標達成につながった。また、住民との協働による取り組みや情報発信による効果も発現した。
						見込み	●		なし －						
指標4	JR鹿児島駅の乗降客数	千人／年	1,227	1,225	1,169	確定		△	あり	1,183	H30年3月（H30年8月）	△		■ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	H28年10月に供用開始した「かんまちあ」の整備効果により、駅利用者数がH29年度は増加に転じた。
						見込み	●		なし ●						
指標5						確定			あり		H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし						

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4－②　その他の数値指標の確定

指標		単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期（公表時期）	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別		達成度	1年以内の達成見込み			理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	中心市街地の入込観光客数	千人／年	7,860		7,981	確定				8,212	H29年11月（H30年7月）			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	年間を通じて行われる多彩なイベント開催などにより指標は増加傾向となっており、「かんまちあ」で開催されるイベントも効果発現の要因となっている。
						見込み	●							
その他の数値指標2						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定					H　年　月			□ 改善策はそのまま □ 改善策に補強が必要 □ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート「評価結果のまとめ」から転記　※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 様式2－2に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために行う方策	「かんまちあ」活用推進ワークショップを継続し、「かんまちあ」を活用した更なるにぎわい・交流を図る住民主体の活動の支援を行う。	H30年3月、5月、8月、11月に「かんまちあ」の活用方策等についてのワークショップを開催するとともに、地域住民が主体となるイベントへの支援や広報活動を行った。	H30年度は、10月末までに「かんまちあ」で開催されたイベント件数が114件で、予約件数を含めると、H29年度を上回るイベントが開催される見込みであり、更なるにぎわいにつながった。	「かんまちあ」の更なる活用を図るため、地域コミュニティ協議会やまちづくり団体等を構成員とする運営協議会の設立を図る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	鹿児島中央駅東口駅前広場に面する中央町19・20番街区において、鹿児島の玄関にふさわしい都市景観の形成や、にぎわいとゆとりある都市空間の創出などを図るため、両街区を一体的に整備する市街地再開発事業を推進する。	H29年10月の権利変換計画認可後、再開発ビルの着手に向けた関係課や関係機関との協議などの支援を行った。	H30年5月に再開発ビルの工事に着手した。	工事期間中のにぎわい創出を図るとともに、H33年1月（予定）の再開発ビル竣工に向けて円滑な事業の推進を図る。
	天文館通電停前に位置する千日町1・4番街区において、にぎわいとゆとりある都市空間の創出や観光・交流機能の強化などを図るため、両街区を一体的に整備する市街地再開発事業を推進する。	H29年12月の組合設立認可後、実施設計や権利変換計画認可に向けた関係課や関係機関との協議などの支援を行った。	H30年11月に権利変換計画が認可された。	工事期間中のにぎわい創出を図るとともに、H33年3月（予定）の再開発ビル竣工に向けて円滑な事業の推進を図る。
	鹿児島の北の玄関口として交通結節機能を強化し、鹿児島駅前広場利用者の利便性や安全性の向上を図るため、自由通路や駅前広場等の整備を実施する。	自由通路及び駅前広場については、H30年3月に事業認可を取得した。	駅舎及び自由通路については、H30年4月にJR九州と工事基本協定を締結し、整備工事に着手した。	H33年3月（予定）の自由通路供用開始及びH34年3月（予定）の駅前広場供用開始に向けて、着実な事業進捗を図る。
	回遊性のある歩行者空間ネットワークを形成し、鹿児島駅周辺の更なるにぎわい・交流の促進を図るため、自由通路の整備や上本町磯線の歩道整備等を実施する。	上本町磯線については、引き続き用地取得を行うとともに、歩道等整備工事を進めた。	上本町磯線については、250メートル区間について工事が完成し、残る区間の一部についても工事に着手した。	H33年3月（予定）の上本町磯線供用開始に向けて、着実な事業進捗を図る。

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項